

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 港が丘 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

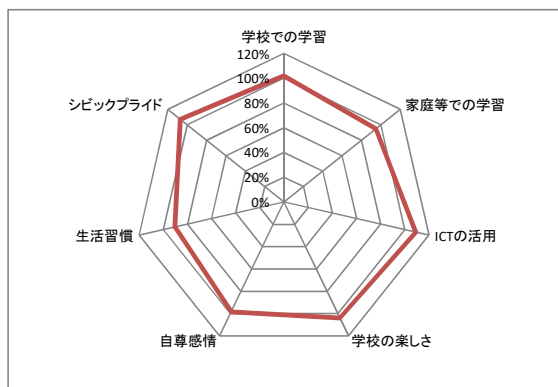
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	○学習指導要領の内容「書くこと」については、全国平均正答率より上回っている。 ○学習指導要領の内容「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国平均正答率より下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる	
	努力が必要な問題	○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる	

算数	全体的な傾向や特徴など	○「思考・判断・表現」の力を問われる問題で、全国平均正答率より下回っている。 ○学習指導要領の内容「データの活用」で、全国平均正答率より下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる問題	
	努力が必要な問題	○グラフから割合を読み取ったり、表から必要なデータを取り出して分析したりする問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
○ICTの活用については、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」の割合が全国を上回っていることから、ICTを活用した授業改善に向けた取組の成果が現れてきていると考える。 ○学校の楽しさについては、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の割合が全国を上回っている。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「友達関係に満足していますか」の割合も全国平均より高いことから、人権学習などの取り組みや、縦割り活動の取り組みなどの成果が現れてきていると考える。 ○生活習慣については、テレビゲームの時間や、スマートフォン等でのSNSや動画視聴の時間が全国平均を上回っている。また、家庭学習については、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」は全国平均を下回っているなど、家庭での学習習慣の低さという点で課題がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 学びあいを中心とした授業づくり。
- タブレットの共同編集、他者参照機能等の効率的・効果的な活用の推進。
- 様々な教科での資料の分析、データ活用場面の設定。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 読書習慣の向上を図るための取り組み（読書通帳、委員会活動、ブックヘルパーの活用）
- タブレットを活用した家庭での学習習慣の定着。
- スマートフォン等の正しい使用についての啓発活動（保健授業、養護教諭による指導、学校通信）